

株式会社れいほく未来

～高齢農家の営農サポート～



ブランド米の生産



土佐あかうしの飼育状況

経緯

- 担い手の高齢化や後継者不足に加え、農業資材の高騰や販売価格の低迷など経営環境が厳しくなり、耕作放棄地の拡大による地域農業の衰退が危惧。
- 生産農家の作業補助を行うことで、今後も安心して農業に取り組むことができる体制支援のためのJA出資法人として設立。

取組内容

- 有休ハウスや農地を借り受け自ら野菜・水稻を栽培するほか、高齢農家の基幹作業を受託し作業を軽減。
- 農業研修生を受け入れ担い手を育成。
- 米粉の商品開発や販路拡大に取り組み、農業所得の向上とブランド化を推進。
- 土佐あかうしの一貫経営による畜産振興に寄与。

活動の効果

- 作業受託による高齢農家や兼業農家の労力補完で、耕作放棄地の防止や農地保全に寄与。
- 土佐あかうし優良雌牛を導入し、子牛が高値で取引されるようになった結果、繁殖農家の増頭に向けた機運が高まり、規模拡大と親元就農が促進。
- 県内外の研修生を受け入れ、雇用就農、新規就農者を創出。

応募団体からのアピール・メッセージ

明るい農業の未来と地域貢献を経営理念とし、住みよい地域と豊かな社会づくりに取り組み、地域社会とともに成長します。雇用の創出や農地の保全により産地を維持し、地域農業の担い手として地域を守り育てます。